

6つのエリアに見どころたくさん！

三笠ジオパークには、多数の見どころなるジオサイトを指定し、いくつかの関連するジオサイトの集まりをエリアとして区分しています。また、地域の特徴は、三笠市立博物館や三笠鉄道村で深く知ることができます。

桂沢エリア ———— 太古の海と生命の足跡

一億年前の生命の息を感じながら、太古の岩石が織りこまれた桂沢ダムから美しい眺望を楽しむことができます。特に、秋の色鮮やかな紅葉は必見です。



桂沢ダム (桂沢エリア)

野外博物館エリア ———— 大地の躍動と文明の鼓動

一億年前と五千万年前の大地の記憶、そして人々の営みの記憶がひとまたぎで体感できるルートで、地層、石炭、炭鉱を歩きながら楽しむことができます。



達布山 (達布山エリア)

幾春別・奔別エリア ———— 石炭とともに発展した炭都の面影

日本の近代化を支えた石炭産業。炭鉱施設の遺構やまち並みから炭鉱まちの面影を感じることができる昔ながらのエリアです。

幌内エリア ———— 石炭を輸送した産業鉄道とその歴史

石炭を本州へ輸送する使命を帯びて誕生した日本初の産業鉄道「幌内鉄道」。その跡をトロッコ鉄道に乗りながら楽しむことができます。鉄道記念館や幌内炭鉱の遺構からは石炭とともに歩んだ三笠の歴史を感じることもできます。



三笠鉄道村 (幌内エリア)

三笠エリア ———— 開拓を担った囚人たちの足跡

北海道初の近代炭鉱であった幌内炭鉱。そこでは囚人達の労働力が用いられていました。三笠にあった空知集治監 (現在の刑務所) の記憶をたどり、開拓期の歴史を感じることができます。



三笠市立博物館

達布山エリア ———— 開拓計画を立てた眺望と変動する大地の恵み

明治の要人達が開拓の計画を立てるために訪れた歴史ある場所です。展望台からは、明治の人々が見た風景を想像しながら歴史に思いをはせることができます。さらに、周辺では、地形と気候を活かしたワイン用のぶどうが栽培されています。

交通アクセス

三笠ジオパークの指定区域は、三笠市全体です。東西 29.7km、南北 24.0km、総面積 302.52km² あり、札幌市、旭川市などの主要都市や新千歳空港から車で約 1 時間圏内に位置する自然豊かな場所です。



- お車の場合** 札幌から三笠 IC まで約 30 分
旭川から三笠 IC まで約 60 分
- JR・バスの場合** **【JR】** 札幌から岩見沢駅まで約 40 分
【バス】 中央バス岩見沢ターミナルから三笠幾春別行に乗車
三笠市民会館前まで約 25 分

三笠ジオパーク推進協議会

事務局：三笠市役所商工観光課地域開発・ジオパーク推進係 01267②3997 / 三笠市立博物館 01267⑥7545

さあ、行こう！
一億年時間旅行へ。



ジオガイド募集中！

旅の楽しみをいっそう増やしてくれるのはガイドの案内です。そこで、現在、まちの魅力をわかりやすく来訪者へ紹介することができるガイドの養成を行っています。三笠が好き、三笠の好きな所や素晴らしい所を伝えてみたいという気持ちをお持ちの方、市内外を問わずお待ちしております！

【応募方法】 電話または商工観光課窓口でお申し込み下さい。

約 5,000 万年前の垂直な石炭層 (野外博物館エリア)

2つの大地が衝突する事によって形成された北海道の大地。その力によって押し曲げられた垂直な地層は、大地が動いている事を私たちに教えてくれます。三笠の石炭はこの地層から採掘され、近代日本の産業化を支えました。

ここは、一億年時間旅行ができる場所

三笠ジオパーク

MIKASA GEOPARK

ジオパークは、地球 (ジオ) を丸ごと楽しむ「大地の公園」です



大地 ———— Earth



炭鉱 ———— Coalmine



歴史 ———— History



文化 ———— Culture

大地の遺産がもたらす恩恵を一つの物語に…

アンモナイトが海を泳いでいた一億年前から炭鉱まちとして栄えた現代まで、一億年の時間旅行を気軽に楽しむ事ができる場所。それが三笠ジオパークです。

三笠ジオパークでは、世界的にも有名なアンモナイトを始めとする一億年前の生命の進化、石炭という大地の遺産の恩恵を活用しながら暮らしてきた、炭鉱まち特有の暮らしや文化などを体感することができます。

三笠ジオパーク推進協議会

事務局：三笠市役所商工観光課地域開発・ジオパーク推進係 01267②3997 / 三笠市立博物館 01267⑥7545